

<別添3> 2007年度 橋本龍太郎記念 APFED 賞 受賞予定者一覧

賞	タイトル	国名	事業体	概要・推薦理由
金賞	失われる土壌：河岸侵食の影響をうける地域社会支援	バングラデシュ	Practical Action (NPO)	従来の事後的な人道援助ではなく、長期的な災害防止・影響緩和を目指し、浮揚農園、不毛な河岸の土壌改良による耕作地への転換、籠を利用した淡水漁業、鴨や家畜の養殖、飼料作物栽培などを、技術の適用と地域住民の参加を促進することで実現。1万3千世帯が被益。災害対策を統合的生態系管理と関連付け、地域住民の食糧安全保障や雇用創出を実現した。
銀賞	グラム・ニディ 生態系学上脆弱な半乾燥農村地域における持続可能な生計のためのエコ企業	インド	CEE - Centre for Environment Education (NPO)	啓蒙活動や訓練などを通じて、生態系学上脆弱な地域に小口融資（マイクロファイナンス）を通じて107のエコ企業を設立。多面的な環境、経済社会的な成果を上げた。
	エネルギー効率の高い照明イニシアチブ(ELI)：品質認証研究所によるエネルギー効率・持続可能な照明技術	中国	ELI Quality Certification Institute (独立法人)	独立性のある検査体制を構築し、自発的なラベル・認証制度を通じてエネルギー効率のより照明機器の市場発展を実現した。
奨励賞	生活とランドスケープ(生圏空間)の転換・インド技術センターによる統合的水路開発プログラム	インド	ITC - India (民間)	2万世帯、7万 ha に及ぶ水資源の利用可能性、土壌浸食、灌漑面積、耕作集約度や形態など様々な情報を関しする技術を導入し、地域の水利用の効率化を実現。公民・地域社会連携、ボトムアップ型の参加型計画、資金制度、技術摘用など、模範的事例と高く評価された。

	自然のための教育を通じたベトナムにおける野生生物の保護への市民参加の推進:ベトナム野生生物犯罪ホットライン	ベトナム	自然のための教育(NGO)	野生生物への犯罪に関する無償のホットラインを創設し、不法な野生生物取引を監視する一方、市民社会の参加や啓蒙を促進した。
--	---	------	---------------	---